

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（売場担当） 衣料品専門店（店長） 通信会社（総務担当） テーマパーク（広報担当） 住宅販売会社（営業担当）	・11月にオープンした山陰では初めてのブランドショップなので、新しいファッションが期待され、販売点数も増加して ・3～4月はアパレル業界にとって重要な時期なので、今月から右上がりになってくる。 ・市場がブロードバンド化を望んでいるため、加入増が見込まれる。 ・小グループを中心とした観光客の動きがある。 ・徐々にではあるが受注が増えてきている。
	変わらない	商店街（代表者） 百貨店（営業担当） 百貨店（売場担当） 百貨店（売場担当） 百貨店（営業企画担当） スーパー（店長） スーパー（店長） スーパー（店員） スーパー（総務担当） コンビニ（エリア担当） コンビニ（エリア担当） 衣料品専門店（店長） 衣料品専門店（地域ブロック長） 家電量販店（店員） 家電量販店（予算担当） 乗用車販売店（総務担当） その他専門店〔書籍〕（店員） 一般レストラン（店） 一般レストラン（営業担当） 観光型ホテル（スタッフ） 通信会社（営業担当） テーマパーク（業務担当）	・携帯電話などへの出費に偏るなど、若者を始めとして消費の中身が変わってきている。 ・季節の変わり目でもあり、ヒット商品があればヤング層の購買は期待できるが、雑貨は手持ちの品で間に合わせ、全体としては買い控ええられる。 ・3月、4月になると、就職、入園、入学、春のプライダグなどセレブニーラッシュの月になるので、売上も期待できる一方で、今持っている洋服に合わせて、セール品の中から買い足す傾向も増えてきている。 ・衣料品の春物の動きがある程度良いが、靴に関してはまだ春物はあまり出していないため、靴の動き次第である。 ・例年に比べ前倒しで購入する傾向がみられる。 ・昨年と同額の販促費用では集客の促進、売上の拡大は非常に厳しく、現状では突破口がない。 ・例年のように給料日明けや週末にちょっと良い物を買うという傾向が少なくなっており、依然客の財布のひもは固い。 ・来客数は減少してきており、買上点数は減少し、客単価は低下傾向にあるものの、一定のラインまで下がりその状態が維持されているため、今後もこの状態が続く。 ・目玉商品だけが飛び抜けて売れ、その他定番商品はあまり動きがなく、買い分けが非常に目立っている。 ・現在野菜の単価が高くなっているが、これから春先にかけてどう動くか不明である。 ・狂牛病問題が再発し、持ち直していた精肉の動きに不安がある。 ・販売企画が進んでおり、良くなる方向にある。 ・価格的にも底までできており、これ以上は下がらないだろうという状況がある程度見えてきており、今後は現状で推移する。 ・全体的な販売量の動きからみて、改善の兆しがみられる部門はなく、依然回復傾向はみられないが、下降傾向にはなく、当面現状のまま底の状態を横ばいとなる。 ・来客数、客単価からは3か月後に良くなる状況にはない。 ・特にスーツ、礼服など重衣料の販売量がやや落ちている。 ・良い物を買う客はこれからも良いものを買うが、値段重視の客はこれからも値段の安い物を買うという形で二極化する。 ・必要に応じて価格に関わらず良い商品は売れるが、余分な物を買わずに買い控えをするケースも出てくる。 ・DVDやマッサージチェアなど好調な物もあるが、既存の商品の伸びが厳しく、売上増には至っていない。 ・低金利のキャンペーンを行うと売上は伸びたものの、コンパクトカーのみの販売に終始している。 ・今後も金利動向によって客の購買意欲は変化してくる。 ・人気新刊書籍の動きも落ち着き、現在有力な新刊や売れる本がみつからないが、当分このような状況が続く。 ・例年と同じくらいの予約数であるため変わらない。 ・折り込み広告を行うため伸びが期待されるが、周辺居酒屋も低単価のつきだしを中心に打ち出しているため、夜の集客は今後も苦戦を強いられることが必至である。 ・見込んでいたより客のキャンセル件数がかなり多くなっている。 ・冬季の春商戦キャンペーンを計画しているが、現状から判断して購買意欲を大きく刺激するには至らない。 ・来客数や滞在時間に好転の兆しがみられない。また問い合わせの件数からして、利用者の興味が少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・顧客の心理状態が変わらないため、契約率、販売単価等も増加の要因がみえてこない。
		住宅販売会社（経理担当）	・新規発売物件の予定はあるものの、競合物件と比較して値引きを求める客が増えており、売上の伸び悩みが予想され
	やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・来客数、単価、販売量とも全く期待できない。
		百貨店（売場担当）	・メーカーサイドの品揃えが全て前倒しになっており、売れる期間の長い、青果物中心の企画が大半を占めている。
		コンビニ（エリア担当）	・今後もアルコールの売上低下が続く。
		乗用車販売店（所長）	・酒を飲んだら車に乗らないため、人々が集まって飲む機会が少なくなるため、アルコール、つまみ等の売上が低下す
		乗用車販売店（営業担当）	・今まで3年で車を買って替えていた人が5年、5年の人が7年、7年の人がまだ乗り続けるという傾向がますます強くなり、代替時期が先延ばしされるとともに、車検も単価が厳しくなっていく。
		乗用車販売店（総務担当）	・既存客からの代替需要があまり伸びておらず、今後新商品が出て売上台数は大きく上がらない。
		乗用車販売店（総務担当）	・展示会等で客の来店はあるが、販売に結びつかない。
		その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック都市型ホテル（従業員）	・来客数が大幅に減っており将来に不安がある。
悪くなる	通信会社（経営者）	・新規加入実績が従来平均値を大きく下回っており、客の反応もより厳しいままである。	
	通信会社（通信事業担当）	・新サービスを導入しても、現状維持が精一杯の状況で、今後も同じような状況が続く。	
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・3か月先に本格的な量産体制に入る新製品の販売量に、かなり期待が持てる。
		輸送業（総務担当）	・取引先の企業などでも、単価が安ければ子会社を利用するよりアウトソーシングする傾向が段々強くなっており、その影響を受けてやや良くなる。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	・消費者の財布のひもが固くなってきているが、高くてもよほど良い品であれば、そこそこ売れる傾向にある。
		化学工業（総務担当）	・製品価格は上方修正の動きをしており、若干持ち直すと予想されるが、収益構造は悪く下期の見通しは依然として厳しい
		鉄鋼業（総務担当）	・得意先からの受注量や製品の動きにほとんど変化わりがない
		鉄鋼業（広報担当）	・依然輸出が好調をキープしているものの、先行き減速懸念がある。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・スポット的な受注で若干救われているものの、それ以外で明るい話はない。販売価格も回復する見込みはなく、むしろ下落する方向にある。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・春に出荷予定の新商品に対して前評判が高く、海外の取引先も関心を示しており期待が持てるが、業界の需要が低迷し
		電気機械器具製造業（総務担当）	・当面安定した受注が入っており、開発、試作も入っているものでほとんど変わらない。
通信業（営業担当）		・業界全体の動向や企業ユーザ層の通信需要をみても、人的資源の整理を含むコスト削減の傾向が続いており、一部業種が活気づいても、全体が短期間で積極投資型などに好転するとは考えられない。	
やや悪くなる	金融業（業界情報担当）	・新型車の生産開始により、操業は一段と高まると期待できるが、コストは厳しさを増す一方で、収益改善は限定的なものにとどまる。	
	建設業（経営企画担当）	・建築工事に関する引き合い物件はあるものの、単価は非常に控えなければ受注できない状況にあり、今後もこの状況は変わらない。	
悪くなる	会計事務所（職員）	・今まである程度の業績を上げていたような会社が、これまでに経験したことのないような悪い状況に陥っており、そのようなところが何社が出てきている。	
	建設業（営業担当）	・今後各社とも受注重視から利益重視に移行する傾向にあるため、全体の受注工事量は減少する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	・今後も製造業を中心に、小規模ながら人員整理の情報が複数寄せられており、新規求職は引き続き高水準で推移する。 ・一時的なものか今後継続されるものかは分からないが、自動車部品業界の海外進出強化により、サプライヤー間に関係部門の増員がみられる。
		民間職業紹介機関（職員）	・派遣への切り替えから正社員募集の求人取り消しを行った企業があり、安定的な雇用条件の下で働ける労働者が増えな
		民間職業紹介機関（職員）	・景気の先行きが不透明で、採用を手控えようとする企業が増えている。
	やや悪くなる	求人情報誌作成会社（支店長）	・求人数は派遣、請負においては増加がみられるが、製造業、小売業では横ばい状態で推移し、年度末に厳しさが予想される建設業では減少している。
		職業安定所（職員）	・店舗の閉店による離職者が増えている。
職業安定所（職員） 学校〔大学〕（就職担当）		・求人の減少傾向が止まらない。	
悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・広島企業の人員調整が遅れており、余剰感を持ちながらも先送りの傾向にあり、今しなくてもどうにかなるだろうという状況が改まらない限り、雇用は一向に変革されない。	